

清瀬市男女共同参画センター アイレック

清瀬市男女共同参画センター アイレック

1995年(平成7年) 清瀬駅前「清瀬市男女共同参画センター」誕生。
公募によって決まった愛称 アイレック はセンターの機能を示しています。

I: Information(情報) 資料の展示や図書の貸出
L: Learning(学習) 講座や講演会の実施
E: Exchange(交流) 個人やグループの交流、活動の拠点
C: Consultation(相談) 女性が抱える様々な悩みの相談

市民の女性編集委員による女性広報「Ms.スクエア」は
令和6年10月からジェンダー平等広報として発刊
(市内全戸配布)
「Ms.スクエア」に加えて7月よりSNS版ジェンダー広報
「スクエア+」を発信開始

スクエア+は
こちらから→



はじめまして！
スクエア+です
.....



←アイレックの沿革等についてはこちらをご参照ください

<https://www.city.kiyose.lg.jp/siseijouhou/danjosankaku/1002890/>



清瀬市男女共同参画センター アイレック

アイレックは、市民の活動の拠点であると同時に、**市の男女共同参画施策を牽引**

2000年(平成12年)「清瀬市男女平等推進プラン」策定

2006年(平成18年)「清瀬市男女平等推進条例」制定

2014年(平成26年)「清瀬市男女平等推進条例

子どものためのガイドブック」発行

2017年(平成29年)「第3次清瀬市男女平等推進プラン」策定

2021年(令和3年) 男女共同参画センター運営委員会分科会

①パートナーシップ制度

②清瀬市男女平等推進条例 子どものためのガイドブック

2022年(令和4年) 2つの分科会は形を変えて活動を継続

①性の多様性啓発事業連絡会

②清瀬市男女平等推進条例を育てる会(サポーターチーム)

(毎年、市内小学校の小学5年生に配布)



「清瀬市男女平等推進条例 子どものためのガイドブック」新装版 2022年7月発行
(2024年5月改訂)

きよせLGBTQ
コミュニティいろは
×
アイレック

自分のセクシュアリティを
隠さずに通じたい

家族や友人、職場の
当事者になりたい

自分の身体の性別に
違和感がある

カフェ
きよにじ

LGBTQ当事者、そうかもしれないと感じる方
Allly(アライ=支援者)、のための定期開催の交流会です。
年齢は問いません。スタッフも一緒にしゃべりましょう!
安心して遊びに来てください。

自分以外の当事者に
会ってみたい

好きな人
同性の人を
好きになった

参加無料
※出入り自由
※市外の方も参加可能

日時
2024.
5.11 ⑨ 14:00~16:00
7.13 ⑨ 14:00~16:00
11.9 ⑨ 14:00~16:00
1.11 ⑨ 14:00~16:00

当事者オンリーデー
9.14 ⑨ 14:00~16:00
3.8 ⑨ 14:00~16:00
上記日程は、LGBTQ当事者のみ
ご参加いただけます。

LGBTQとは?
セクシュアルマイノリティの総称です。
セクシュアルマイノリティとは、同性を好きに
なったり、身体の性別に違和感があったり、
性別にとらわれない、また決めている、な
ど様々な方のことを指します。
日本ではLGBT層に該当する人は、左利きの
割合とはほぼ同じくらいという調査結果も出て
います。 ※電脳ダイバーシティラボがLGBTQに関する調査を実施

場所
清瀬市男女共同参画センター(アイレック)
東京都清瀬市元町1-2-11

お問い合わせ
清瀬市男女共同参画センター(アイレック)
TEL:042-495-7002 (月~金 8:30~17:00)

参加される方へ
◇お飲み物やお菓子等の提供はございませんので
ご持参ください

LGBTQ当事者、そうかもしれないと
感じる方、および支援者のための交流会

清瀬市男女共同参画センター アイレック

市民によるアイレック

男女共同参画センター運営委員会
サポーターグループ 現在6チーム
登録団体 現在11団体

イベントチーム: アイレック主催事業の企画協力、事業運営

図書チーム: アイレックの所蔵図書の分類、整理や本の紹介

切り抜きチーム: 男女共同参画関連新聞記事を切り抜き、掲示

保育チーム: 保育室内の壁面装飾、遊具のメンテナンス

清瀬市男女平等推進条例を育てる会: 分科会から発展

アイレックカフェチーム: Ms.スクエアを題材に哲学カフェを実施



清瀬市
Kiyose City

主催：アイレックより実行委員会

手を組めば新しい未来

Vol. 29

アイレック まつり

！毎年恒例！
バザー＆パネル展示
もやります！

10月13日 日
10:00（開場 9:30）

進んで
学ぶ

ココロと
カラダ
ひろば
こころとからだのひろば

講師 遠藤みどり さん
（助産師）

赤ちゃんはどこからくるの？どうして人前では服を着ないといけないの？...子供たちからのそんな疑問に適切に答えることが得来、彼らの心と身体を守ることに努めます。でもそれと書いていいことだと思いませんか？そこでパネルシアター、力強い「さくら」ごっこを通じて遊びながら学ぶ「ひろば」が2時間登場！家族みんなで遊びに来てく
★お子様には参加費で「きよせ棒」をプレゼント！
対象：3～8歳程度

パネルシアター希望者のお要予約

10月13日 日
14:00（開場 13:30）

聞いて
学ぶ

フェミニテック
から考える
性と人権

講師 北原みのり さん

北原さんは、正面から性についてオープンな形で論議することをお当たり前として活動されてきました。それは誰もが自分らしく生きることが人権。性に関するすべての問題は、みんなの問題であり社会の問題なのだから、みんなで助け合って解決しようという姿勢です。このところフェミニテック*が話題になっています。この新しい考え方を北原さんがどう捉えたいの
しゃべるのか伺います。

定員 150名・要予約

観て
知る

10月12日 土
14:00（開場 13:30）

パッドマン
1億人の女性を救った男
（字幕）

STORY

地位も名誉もないごく普通の男が、妻のために生理用品開発に一生を捧げ、インド5億人の女性を救った実話に基づく作品。鑑賞の前段で印象が全く変わる「見ないわからない映画」です。要するに人を守ることをかけた女性の日々の困難を助ける、産生用品、世の中を幸せにしたい姿をご覧ください。

定員 150名・要予約

PROFILE

作家。（有）アジアメディア。津田塾大学卒業後、朝日新聞ライターの等を経て1996年にフェミニテックの草分けともいえる「ラブスペースクラブ」を設立。2019年に結成より全国に展開したフアラウデーの呼びかけ者の一人。

フェミニテック（Female and Technology）をおかけの北原さんで、女性が発見する健康課題（月経不調・子宮炎、出血、育児、子育て、婦人科疾患など、女性生活に付

アイテム、セクシュアル・ウェルネス）をテクノロジーで解決しようという考え方。

さまざまな生理用品を
知ろう！触れよう！

生理用品は紙ナプキンだけではなく、さまざまな月経カップにディスク、吸水ショーツなど...様々な選択肢があることを知ってみませんか？

予約不要

触れて
知る

参加無料・保育有（予約制・先着順・無料）
講演会・映画ともに予約制です。

ご予約は
こちらに

←アイレックが開館した10月
に毎年アイレックまつりを実施。



11月8日(金)午後4時～7時 パープルキャンドル
「女性に対する暴力をなくす運動」
期間にちなんで、清瀬駅北口で紫のキャンドルを灯します

男女共同参画週間(6月)、人権週間(12月)、
国際女性デー(3月)にはイベントチームの
企画による講演会を実施 ↓

国際女性デー記念講座

「ミモザウェイズ1910-2020」上映会

【第1部】
日本の100年の女性史を振り返る演劇公演の映像を一挙上映

【第2部】トークおよびディスカッション
企画・翻訳・製作者のリポアルなみのさんもオンラインで参加

内容の詳細はこちら➡



<https://orpaas.jp/10PeJ>

日時: 3月3日(日)
13:30-16:30 (開場13時)
場所: アミューホール
(アミュービル7階・清瀬駅北口1分)

事前申込み必要です(無料)
お電話または下のQRコードから
お申込みください



<https://logoform.jp/F/55QQ>

清瀬市男女共同参画センター
電話042-495-7002 (平日9時~17時)

★保育が必要な方はお電話でお申込みください
(2月22日まで。先着10名)

日仏女性の権闘家 米モザ www.woman-engeki.com

国際女性デーとは

毎年3月8日は「女性の権利と国際平和のための日」で、世界各国で様々な形で祝われています。その起源は諸説ありますが、20世紀初頭にアメリカの女性参政権運動がきっかけだと言われています。この動きはヨーロッパやロシアなど世界中に広がり、1923年に日本で初めて国際女性デーへの取り組みが行われました。1977年には国連でも決議されました。

主催: 清瀬市 共催: 日本社会事業大学

←アイレックについてはこちらをご参照ください

<https://www.city.kiyose.lg.jp/siseijouhou/danjosankaku/index.html>

